

平成 16 年度概算要求に向けた調査・検討の進め方について

1 重点分野推進戦略専門調査会における調査・検討の経緯等

- (1) 総合科学技術会議は、第 2 期科学技術基本計画に基づき、分野別推進戦略等を踏まえて、次年度の予算、人材等の資源配分の方針を作成することとなっている。
- (2) これを踏まえ、重点分野推進戦略専門調査会において、これまで、平成 14 年度及び平成 15 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針の作成に資する戦略的重点化等について調査・検討を行ってきたところである。今年度も、「平成 16 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」の作成に向け、重点分野推進戦略専門調査会において、科学技術の戦略的重点化について調査・検討を行う。その際、必要に応じて、分野・領域毎のプロジェクトチームを活用する。

2 調査・検討の視点等

第 24 回総合科学技術会議（平成 15 年 1 月 28 日）において、平成 15 年度の科学技術関係施策の状況を取りまとめたところである。また、第 25 回総合科学技術会議（平成 15 年 2 月 26 日）において「『平成 16 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針』の作成に向けて」を、第 26 回総合科学技術会議（平成 15 年 3 月 28 日）において「平成 16 年度の科学技術分野の重点事項について」をそれぞれ取りまとめ、総合科学技術会議有識者議員等の主要な問題意識を示したところである。【資料 1 - 5、資料 1 - 6、資料 1 - 7】

平成16年度概算要求に向けた重点分野推進戦略専門調査会における検討は、これらを十分に踏まえて行うこととする。

具体的には、科学技術分野の急激な状況変化に対応するため、前年に定めた方針からの継続性を考慮しつつ、最新の技術動向・研究動向を反映して、特に重点的に推進すべき事項等の検討を行う。

(参考)

「平成16年度の科学技術分野の重点事項について」(第26回総合科学技術会議(平成15年3月28日)資料)において示された主な観点。

1. 研究基盤の強化による国力の充実
2. 国際競争力の確保・強化による経済の活性化
3. 少子高齢化などの諸課題に対応する安全・安心な社会の構築

3 調査・検討事項及びスケジュール

(別紙)

(別紙)

調査・検討事項及びスケジュール

4月15日(火)(第17回)

- 平成16年度概算要求に向けた調査・検討の進め方について
- 平成16年度に向けた科学技術の戦略的重点化の方向性について等

4月21日(月) 第27回総合科学技術会議

- 平成16年度の科学技術分野の重点事項について 等
(関係大臣から説明)

5月15日(木)(第18回)

- 専門委員からの戦略的重点化及び重点的技術課題に関する意見について
- 各プロジェクトチームの検討状況報告について 等

5月20日(火)(第19回)

- 平成16年度に向けた科学技術の戦略的重点化について 等

5月下旬 第28回総合科学技術会議

- 「平成16年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針(案)」についての審議・検討 等

6月5日(木)(第20回)

- 「平成16年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針(案)」について 等

〔6月下旬 第29回総合科学技術会議
○「平成16年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針
(案)」の審議・決定 等

〕

